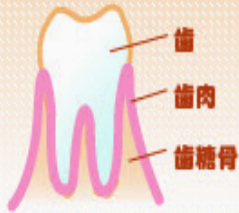


歯周病の進行

歯周病の進行は非常に遅いため、普段の口腔内の変化にはなかなか気がつきません。

歯周病菌やプラークが付着してきましたね。歯周病の始まりです。



歯周ポケットといわれる、歯と歯ぐきの間に溝ができてしまいました。

このぐらいになってしまうと歯がぐらぐらになってしまい、多くの人はこの頃にやっと症状を自覚します。

①歯肉炎

歯肉に炎症が起きて赤く腫れ、歯磨きなどちょっとした刺激でも出血しやすくなる。

②軽度の歯周炎

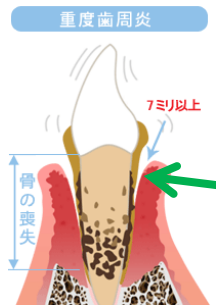
歯肉の炎症が進み、歯と歯肉の間に「歯周ポケット」という深い溝ができ、歯垢がたまりやすくなる。歯肉の色が赤紫色に黒ずんだりすることも

③中度の歯周

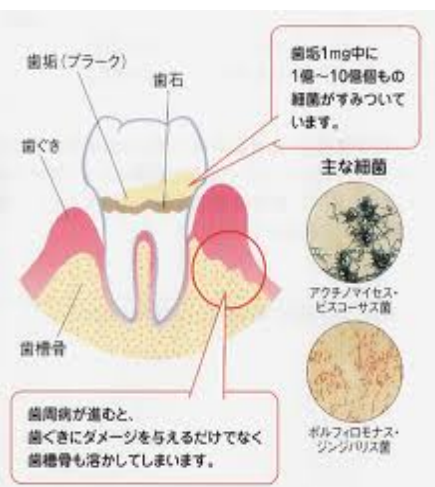
歯肉がぶよぶよにはれ、口臭がひどくなり歯周ポケットから膿が出たりする。

④重度の歯周炎

歯槽骨がとけて歯根が露出し、歯はグラグラとなり、最後は抜けてしまう。



4mm以上になると歯根にも歯石が付きやすくなります



歯と歯茎の溝に棲む細菌が時々活動するとき（急性化）があります。

体の抵抗力が落ちたり、疲れがたまると、症状が出たりします。

①歯が浮いた感じが強い

②噛みづらくなる。噛むと痛む

③歯茎が腫れている

症状がでたら、早めの受診をお勧めします。



ごきげんデンタルクリニック

